

小4国語で落語会

山紫海碧



場面や人物の様子を想像して落語会をしよう
話す速度、強弱、間を調整して話そう

小四年生達が「校長先生、落語会をしますので、見に来てください。」とてんで教室に呼ばれてみたら、なにやら紫舞台が出来上がっていて、楽しそうな雰囲気。「いいねー。粋だねえ。」「教頭先生も呼んでいいかい。」てなわけで、職員室にいる先生方も来てもらったって寸法だ。瑞季先生から今日の落語会のねらいや目標を説明してもらって、いよいよ実演開始。

まず、出囃子(でやし)という入場曲が鳴って小乃雪さん達、四人グループの登壇だ。「ときそば」ってのを発表したね。世の中、計画通りには行かないぞってところが落としどころだ。四人とも上手だったね。
次に「まんじゅうこわい」。これも落語の定番。まんじゅうが嫌いだと言う人にいたずらして、まんじゅうをたくさん届けて話。未来さんがなりきって発表したね。若菜さん、言い回しが上手だねえ。まんじゅうが嫌いだという人はいないと思うが、おもしろいのなんのってなかつたね。ちなみに校長先生は何が怖いかって？山羊汁がこわい。お後がよろしいよう。



有銘幼小中学校
学校便り 75号
山紫に海碧く
H27.9. 24

赤土等流出防止の取り組みを体験する



たいてい、環境を大切にしたいです。私たちが、雨ふらしさん、山川さん、神里さん、宮平さん、寺崎さん、終了。学校に戻って、振り返りシートを書いて、クイズを行いました。学校にベチバーを植えて体験をしましょう。

失われていく沖縄の自然。今、私たちにできることは何か？沖縄県の赤土等の流出とその防止対策について、県環境保全課と沖縄環境保全研究所の皆さん、有銘校三年生以上のみならずと保護者の皆さんで体験学習を行いました。ビデオで畑や海の大切さや赤土が流れる様子、赤土流出を防ぐ取組についてイメージをつかみ、ベチバーなどで作ったモデルで赤土が海に流れ出るシミュレーションを体験しました。さらに、柵やマルチング、ベチバーなどのグリーンベルトで赤土流出を防ぐ実験も行いました。

